平成２５年度　ＰＴＡ総会の話

本日は，大変お忙しいところ，お寒いところ，授業参観そしてＰＴＡ・中村小学校をよくする会総会にご参加いただきありがとうございます。

４／８より新年度がスタートし約２週間がたちました。保護者，地域の皆さんには毎日の通学の安全について献身的なご協力をいただき心から感謝申し上げます。新しい学年，学級，友だち，先生などまだ慣れないことも多いと思いますが，早く学校や学級になれ，生活のリズムができるようご家庭の皆さんと連携して取り組んでいきたいと思います。気になることがありましたら遠慮無くご連絡ください。宜しくお願いいたします。

本校の学校教育目標は**「一人一人の能力を伸ばし豊かな心と丈夫な体をもつ児童を育成する」**で，特に校訓**「自治」「勤労」「感謝」の心**を育てることに今年度も力を入れて取り組んで参ります。**少子化や価値観が多様になっている現代社会**ではありますが，子ども達が**将来社会に出て，それぞれのよさを発揮して幸せな生活**を送るためには「自治」「勤労」「感謝」の心を育てることは大変重要と考えております。

「勤労」と「感謝」については「学校に通ったり，生活したりと**当たり前と考えていたこと**は，**当たり前のことではないこと**は，**２年前の千年に一度と言われる東日本大震災が残した大切な教訓**です。子ども達が**周りの多くの人の支えで勉強や生活ができていること**に気づき，**感謝の気持ち**をもって，自分が今できることや役割をしっかり果たしたり，社会に貢献しようとしたりする意欲や態度を**あいさつやそうじ，ボランティア活動などを重点化**して取り組んで参りたいと考えております。

「自治」では，変化の大きな社会の中で，**言われることをただやる**のでなく，**自分で考え，自主的に，みんなのためになる良い活動を行う**ことは将来社会に出てからも生きる大切な力と考えます。

特に，中村プロジェクトを中心に「やればできる」「やったことがみんなの役に立つ」など様々な体験や経験を通して，自分のよさに気付き，周りの人とよい人間関係をつくりながら，自信や活動の意欲を高めていきたいと考えています。

昨年，**ＩＰＳ細胞でノーベル医学生理学賞**に輝いた皆さんもご存じの，京都大学の**山中伸弥（しんや）**教授は，父親から**「ビジネスはだめ,人助けをしなさい」**

という教えに基づき，長年**地道な研究**に取り組み，幾多の困難を乗り越え，ノーベル賞という世界に誇れる賞を受賞しました。若い頃，手術は下手で，他の人なら２０分で終わる手術が，２時間もかかっり，「じゃまなか」などとあだ名をつけられたそうです。しかし，そんなことにめげず，**得意な研究分野**を伸ばしていきノーベル賞をとる快挙を成し遂げました。さらに，受賞後も**「私は，まだ一人の患者も治していない」**とさらなる研究に取り組んでいると聞いています。

「自分の考えや力を発揮し，人の役に立つことを根気強くやり遂げる」この姿は，まさに校訓で育てたい心と通じるすばらしい姿ではないかと思います。

ご家庭でも**「自分のことはできるだけ自分でする」「あいさつができる」「お手伝いなど家庭の一員としての役割が果たせる」**など取り組んでいただければと思います。

「子どものよりよい成長を目指すこと」これは学校とご家庭の皆さんと**共通した願い**です。子どもたちは成功もあれば失敗もあります。時には，いたづらやけんか，小さないじめなどをしてしまうことも当然あります。しかし，これらのことは，**子どもにとって次の成功や成長のチャンス**でもあります。

そのためには，学校とご家庭の皆さんが**「子どもの成長のために」という同じ土俵**で，ともに協力していきたいと考えております。

ところで，学校の役割と家庭の役割は違います。学校では，子ども達は決まりを守ったり，いろいろな友だちと生活したりとがまんや背伸びをして生活しています。よく「おまえは外面がいい」といわれることがありますが，子どもにとっては，学校は，ある面で，不安や緊張を感じる力がいる場所です。ですので，ご家庭では，お子さんが本音がだせたり，辛いことやいやなことなどを話せる場所であることが大切なことです。そして，子ども達は，気持ちを受け止めてくれる安心な場所があることで，明日への力が湧いて，元気に学校で生活することができるのです。学校でできること，ご家庭でできることを，必要に応じて担任と情報交換し連携してお子さんの成長を見守って行ければと思います。

本校職員も努力して参りますが，時には，いたらないことで，ご心配をおかけする事があるかもしれません。改めるべき事は改め，ご家庭の皆さんと共に，お子さんの教育に当たりたいと考えております。１年間どうぞよろしくお願いいたします。